
カップ・イン・ドリーム ~夕暮れのクリスマスに~

先綾 悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カップ・イン・ドリーム ～夕暮れのクリスマス～

【NNコード】

N7265L

【作者名】

先綾 悠

【あらすじ】

ある年のクリスマス。僕は娘とケーキを買いに商店街に行つたのだが、そこにはあるものがセール中でした。

(前書き)

季節外れで申し訳ないです m(ーー) m

今日はクリスマス。

僕は六歳の娘といつしょにケーキを買いに近くの商店街まで来ていた。幸いなことに今年はホワイトクリスマスになつて、娘も大きってきた。

ここはあまり雪の降らない土地なので、こうしてホワイトクリスマスを迎えたことは僕倖といえる。

「おとーさん、どんなケーキがあるかな?」

一人娘の由紀が僕の手を握り、期待に満ち溢れた顔で聞いてきた。

「ん? 由紀の好きなケーキを買ってあげるよ」

「ホント? おとーさん、ありがとー」

僕は本当に娘には甘い。よく妻にも言われるがこの笑顔を曇らせたくはないからね。

商店街はクリスマスと言うだけあって活氣があった。クリスマスももう終盤というだけあって、セールをはじめている店もある。

「ねえ、おとーさん、あれ何? 同じ色のコップが並んでるよ?」

由紀が指差しているのは、店先に並んでいるセール中の品だった。

「ああ、これはね。ペアカップだよ」

「ペアカップ?」

「うん。仲のいい男の人と女の人、仲良くなつた記念に買うんだよ

……?」

由紀が一瞬泣きそうな顔になつたけど、僕は笑顔を向けて、「でもおとーさんとおかーさんは持つてないよね? 仲良くないの買わないんだ」

と、優しく説いた。実際僕の妻は結構な恥ずかしがり屋で、あまり『恋人』な物を買った記憶がない。

「そっかあ。よかつた……。……それじゃあ私に買つて

「……え。どうして?」

「だって、仲のいい男の人と女の人が買つんでしょう? ジャあお父さんと私でもいいよね?」

「う~ん……。じつのはね、お父さんじゃなくて、もひとつ仲のいい男の子のお友達が出来たら買いなさい」

「お父さんより仲のいいお友達なんていないよ」

それはお父さんとしては嬉しいんだけどね……。

「由紀は優しいからきっと出来るよ」

「私は、お父さんがいいの一ー」

お父さん嬉しくて涙が出そうだよ。

「ありがとう。でもお父さんは由紀と一緒にケーキを食べるほうが嬉しいな~」

「う~ん……。じゃあケーキで我慢してあげる。でもペアカップもいつか買つてね」

「はいはい。それじゃあ行こ~うか

「うん!」

そうして由紀は嬉しそうに僕の「ホールに飛びっこってきた。今年も良いクリスマスになりそつだ。

あれから二十年後。娘夫婦の食器棚には一組のペアカップが置いてあります。

(後書き)

批評じごじんトセー！ なるべく具体的にお願いです^_^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7265/>

カップ・イン・ドリーム ~夕暮れのクリスマスに~

2010年10月21日23時25分発行